

富里市地域福祉活動計画進行管理委員会
進行評価結果概要

平成30年8月29日（水）

富里市社会福祉協議会

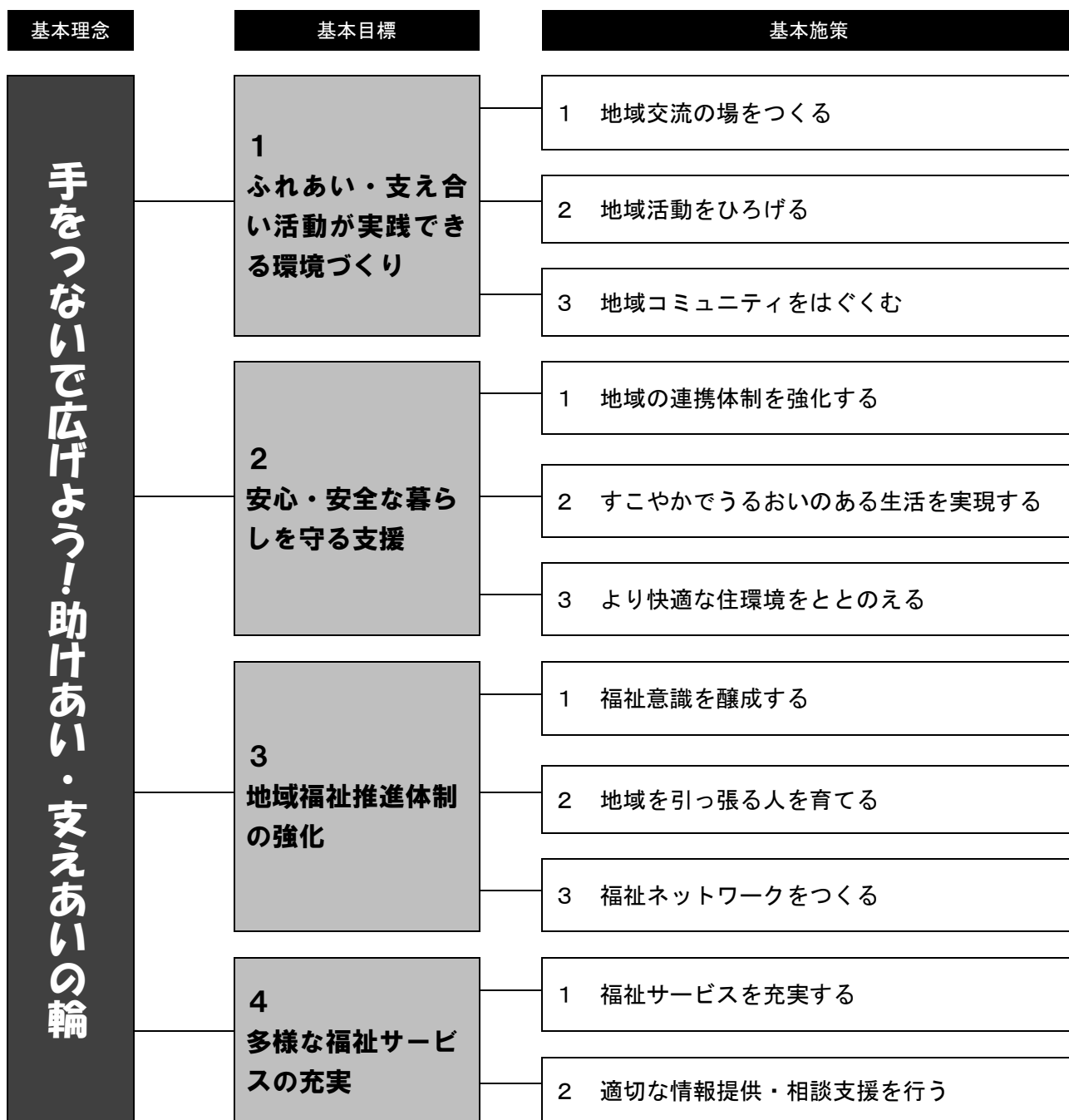
目次

1. 目的	1
2. 評価の対象（現行計画の体系）	1
3. 評価の方法	2
4. 評価の手順	2
5. 評価結果	3
(1) 全体及び各評価結果	3
(2) 施策評価結果	6

1. 目的

「富里市地域福祉活動計画」（以下「現行計画」）の1年目が終了したので、平成29年度における取り組みの成果や課題を明らかにし、現行計画に位置づけられた取り組み等の実施状況についての結果を整理し取りまとめを行いました。

2. 評価の対象（現行計画の体系）



3. 評価の方法

現行計画に位置づけられている各施策の「社会福祉協議会の取り組み」について、「評価シート」を用いて担当者による自己点検と評価を行いました。

評価内容は、「施策の内容」「進行状況の自己評価」「平成29年度の成果と課題」「今後の方針」「平成30年度の取り組み」としており、「自己評価」については以下の基準によりA～Eの5段階で評価しています。

なお、現行計画に位置づけられている「社会福祉協議会の取り組み」の数は60（再掲6を含む）となっています。

【評価基準表】

評価	評価内容	達成状況	評価点 (点数換算)
A	計画通り	達成率80%以上	10
B	おおむね計画通り	達成率50%以上80%未満	6
C	遅れがある・順調ではない	達成率50%未満	3
D	取り組んでいない	達成率0%	0
E	その他（事業移管等）	—	—

※評価点について

評価を実施するにあたり、基本目標及び施策の体系ごとの評価結果の比較を行うために、達成状況を上記のとおり点数化しています。「A」～「D」の4段階評価のうち、最高点（A）を「10」、最低点（D）を「0」とし、その中間の数値「B」「C」をそれぞれ「6」「3」としています。（各取り組みの評価結果が「A」であることを優先的に評価するために、「A」と「B」の差（4）が「B」と「C」、「C」と「D」の差（3）よりも大きくなるように設定しています。）なお、Eは事業自体が移管された関係上、「—」として評価の対象から外しています。

4. 評価の手順

評価シートを担当者に配布し、「施策の内容」「進行状況の自己評価」「平成29年度の成果と課題」「今後の方針」「平成30年度の取り組み」について、担当職員を中心に記入を行いました。

なお、社協全体の点検作業として職員会議を利用して平成29年8月3日・平成30年2月6日に2度の点検を実施しました。

5. 評価結果

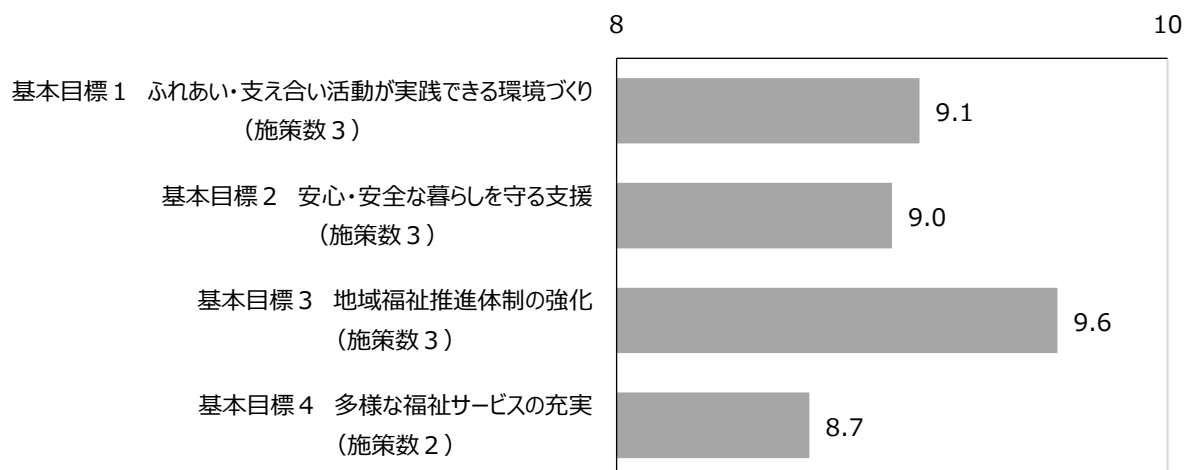
以降に示す評価結果の点数については、10点満点中の点数となります。

(1) 全体及び各評価結果

①全体及び基本目標

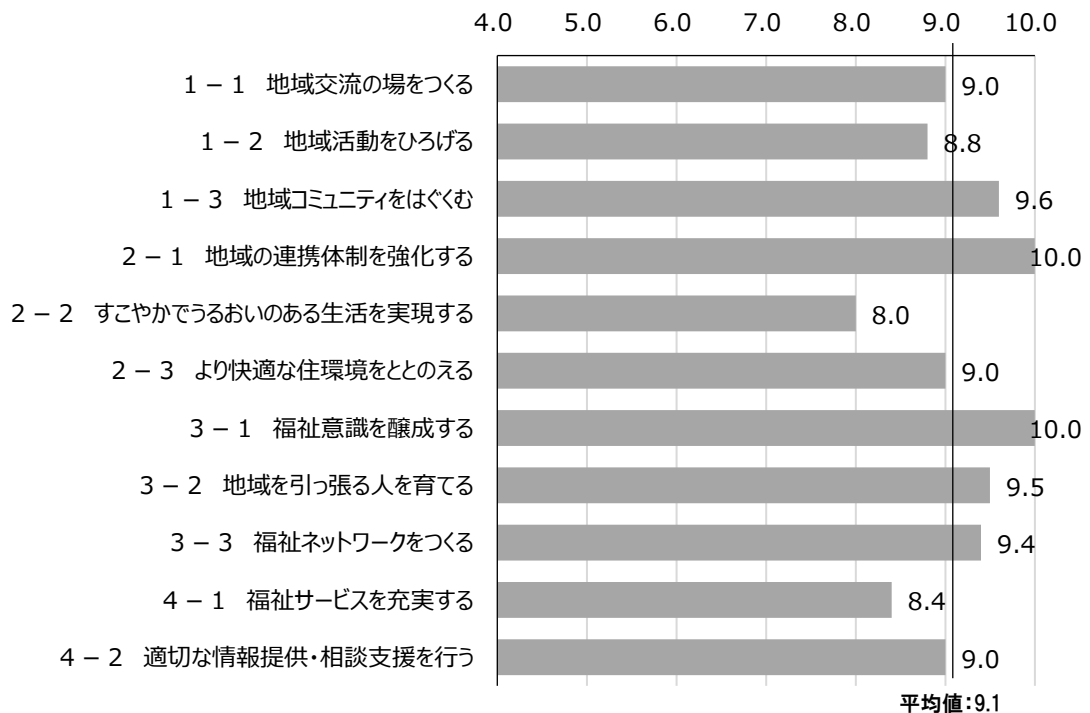
現行計画の全体の評価点は、9.1点

基本目標ごとの評価については、「基本目標3 地域福祉推進体制の強化」が9.6点で最も高く、次いで、「基本目標1 ふれあい・支え合い活動が実践できる環境づくり」が9.1点、「基本目標2 安心・安全な暮らしを守る支援」が9.0点、「基本目標4 多様な福祉サービスの充実」が8.7点となっています。



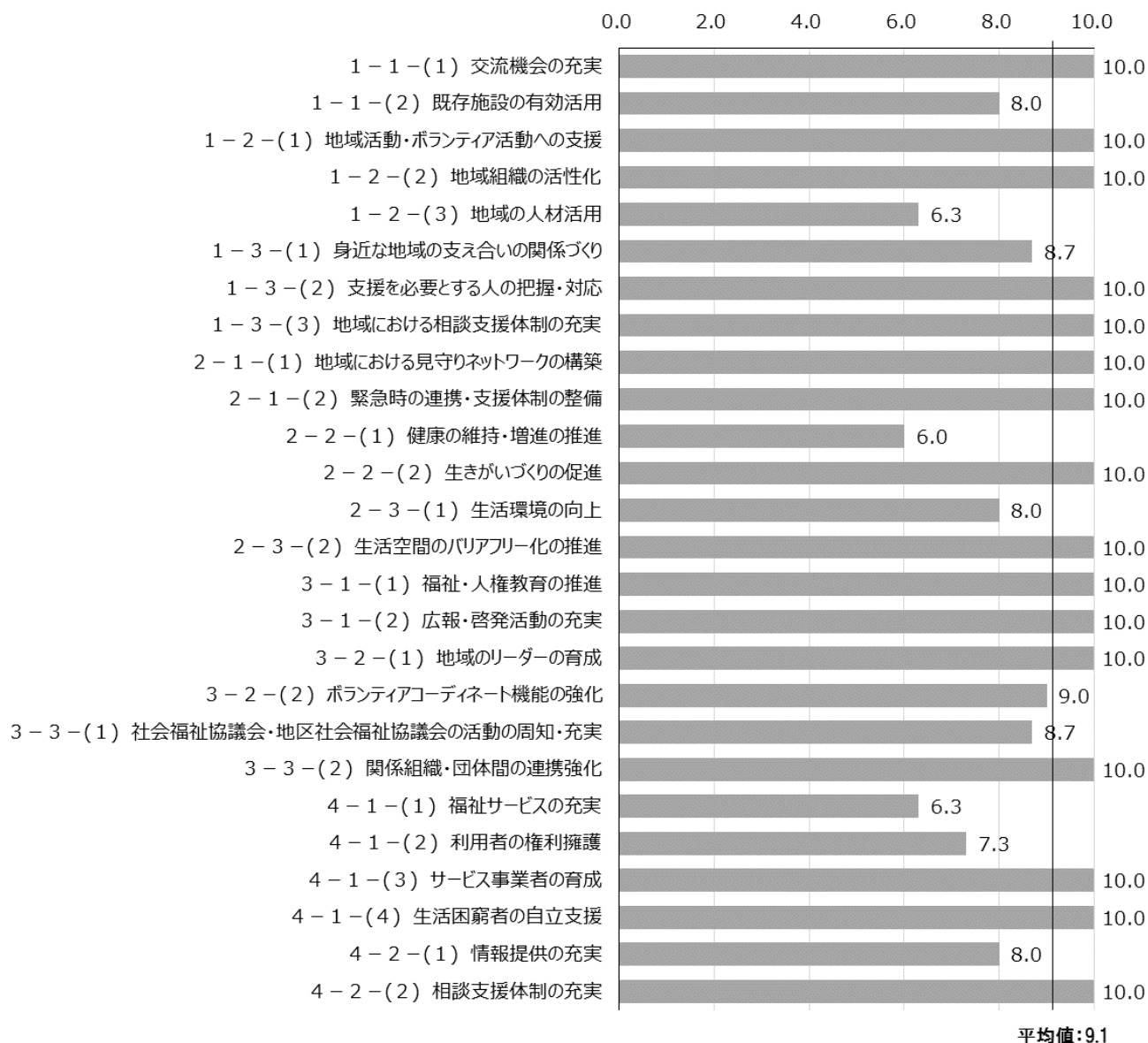
②施策の中柱

施策の中柱ごとの評価については、「2-1 地域の連携体制を強化する」「3-1 福祉意識を醸成する」で10.0点と最も高くなっており、次いで「1-3 地域コミュニティをはぐくむ」が9.6点、「3-2 地域を引っ張る人を育てる」が9.5点となっています。一方で「2-2 すこやかでうるおいのある生活を実現する」が8.0点と低くなっています。



③施策の小柱

施策の小柱ごとの評価については、「1-1-(1)交流機会の充実」「1-2-(1)地域活動・ボランティア活動への支援」「1-2-(2)地域組織の活性化」「1-3-(2)支援を必要とする人の把握・対応」「1-3-(3)地域における相談支援体制の充実」「2-1-(1)地域における見守りネットワークの構築」「2-1-(2)緊急時の連携・支援体制の整備」「2-2-(2)生きがいづくりの促進」「2-3-(2)生活空間のバリアフリー化の推進」「3-1-(1)福祉・人権教育の推進」「3-1-(2)広報・啓発活動の充実」「3-2-(1)地域のリーダーの育成」「3-3-(2)関係組織・団体間の連携強化」「4-1-(3)サービス事業者の育成」「4-1-(4)生活困窮者の自立支援」「4-2-(2)相談支援体制の充実」の16の施策で10.0点と高くなっています。一方で、「1-2-(3)地域の人材活用」「2-2-(1)健康の維持・増進の推進」「4-1-(1)福祉サービスの充実」が6.0点台と低くなっています。



(2) 施策評価結果

基本目標1 ふれあい・支え合い活動が実践できる環境づくり

中柱ごとの評価点

基本目標1の評価については、「1-3 地域コミュニティをはぐくむ」が9.6で最も高く、次いで、「1-1 地域交流の場をつくる」が9.0、「1-2 地域活動をひろげる」が8.8となっています。

基本目標1全体	9.1
1-1 地域交流の場をつくる	9.0
1-2 地域活動をひろげる	8.8
1-3 地域コミュニティをはぐくむ	9.6

1-1 地域交流の場をつくる

各取り組み項目別の評価点

1-1全体	9.0
1-1-(1) 交流機会の充実	10.0
1-1-(2) 既存施設の有効活用	8.0

1-1-(1) 交流機会の充実

1	地区社会福祉協議会活動の支援・PR	平成29年度	評価点
	広報紙「ささえ愛」やホームページを積極的に活用し市民への情報提供に努めます。また、地区社会福祉協議会の広報紙を発行しPRにつなげます。	・広報紙（年3回） ・ホームページ随時更新 ・地区社協広報紙（4地区）	10.0
2	機材・備品の貸出	平成29年度	評価点
	区・自治会、福祉施設等での行事やイベントの際に、テントや音響機材のほか、車椅子などの福祉機器の貸し出しを実施し、地域行事の運営への協力を通じ、地域との交流機会の充実に努めます。	・随時貸出	10.0
3	富里市福祉まつりの開催	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会や福祉団体、ボランティア活動団体など地域で取り組んでいる活動を紹介し、PRを行います。	・参加団体PR活動 ・パンフレット紹介	10.0

1-1-(2) 既存施設の有効活用

4	福祉センターの活用及び調査・分析	平成29年度	評価点
	現状での各団体の利用について、利用者の居住地区などのデータ収集やニーズ把握のためのアンケートの実施を検討していきます。また、地域住民への周知のために広報紙「ささえ愛」やホームページを活用して利用者数の増大を図ります。	・調査準備 ・広報紙、ホームページでの周知	6.0
5	機材・備品の貸出（再掲）	平成29年度	評価点
	区・自治会、福祉施設等での行事やイベントの際に、テントや音響機材のほか、車椅子などの福祉機器の貸し出しを実施し、地域行事の運営への協力を通じ、地域との交流機会の充実に努めます。	・随時貸出	10.0

1-2 地域活動をひろげる

各取り組み項目別の評価点

1-2全体	8.8
1-2-(1) 地域活動・ボランティア活動への支援	10.0
1-2-(2) 地域組織の活性化	10.0
1-2-(3) 地域の人材活用	6.3

1-2-(1) 地域活動・ボランティア活動への支援

6	ボランティアセンターのPR	平成29年度	評価点
	ボランティア講座の募集ポスターを公共施設等に掲示したり、ホームページを活用し積極的に情報提供に取り組みます。	・継続実施	10.0
7	ボランティア入門講座の開催	平成29年度	評価点
	ボランティア入門講座を開催するとともに、登録につながるよう支援します。	・年1回開催	10.0
8	介護支援ボランティア制度の活用	平成29年度	評価点
	市と協力し、介護支援ボランティアポイント制度を利用・活用します。	・検討	10.0
9	広報紙等でボランティア活動を紹介	平成29年度	評価点
	毎年の活動報告を参考に、活動の取材に向き、広報紙やホームページ等で紹介します。	・年間2~3団体または個人の活動を紹介	10.0
10	ボランティア講座・サロンの開催	平成29年度	評価点
	どのようなボランティア活動の需要があるか見極めながら各種養成講座を開催します。また、サロンについてはボランティア活動へのきっかけづくりとして有効なことから開催に向けて取り組みます。	・年間4~5会講座開催 ・サロン開催検討	10.0

1-2-(2) 地域組織の活性化

11	広報紙による活動紹介	平成29年度	評価点
	広報紙「ささえ愛」やホームページを活用し、イベントや行事情報を発信します。また、福祉まつりを福祉のPRの場として団体活動を冊子にして紹介します。	・ささえ愛、ホームページ、福祉まつり冊子の掲載	10.0

1-2-(3) 地域の人材活用

12	ボランティアの募集・登録	平成29年度	評価点
	どのような知識、経験を持つボランティアの需要があるのかを調査、研究し、募集及び登録を進めます。	・調査	3.0
13	とみさと市民活動サポートセンターとの協力・情報交換	平成29年度	評価点
	とみさと市民活動サポートセンターと連携し情報提供に努めます。	・継続実施	6.0
14	シルバークラブのリーダー育成・支援	平成29年度	評価点
	各種教室や研修会を開催し、シルバークラブを引っ張っていくリーダーの育成や新規会員の加入促進を支援します。	・加入促進健康講座（毎月） ・リーダー研修会（年1回）	10.0

1-3 地域コミュニティをはぐくむ

各取り組み項目別の評価点

1-3全体	9.6
1-3-(1) 身近な地域の支え合いの関係づくり	8.7
1-3-(2) 支援を必要とする人の把握・対応	10.0
1-3-(3) 地域における相談支援体制の充実	10.0

1-3-(1) 身近な地域の支え合いの関係づくり

15	地域コミュニティ形成支援	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会で開催される各種イベントに一人でも多くの方々に参加していただき、子どもから高齢者まで顔の見える関係づくりに取り組みます。	・各種イベント開催支援 ・地区敬老会の開催支援	10.0
16	地区社会福祉協議会との連携による他団体支援	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会が主催する各種イベントを通して、さまざまな関係団体と協力・連携し、地域による支え合い・見守り活動ができるよう支援します。	・継続支援	6.0
17	広報活動	平成29年度	評価点
	広報紙「ささえ愛」やチラシ等を作成するとともにホームページを活用し活動の周知を図ります。	・ささえ愛掲載、ホームページ随時更新 ・チラシ内容検討	10.0

1-3-(2) 支援を必要とする人の把握・対応

18	歳末慰問の実施	平成29年度	評価点
	歳末たすけあい募金の配分金事業として、一人暮らし高齢者等への慰問を通じて福祉サービスの情報提供を行うとともに、サービスが必要な人の把握に努めます。	・継続実施	10.0
19	地区社会福祉協議会活動	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会の各種事業に参加している地域の意見を把握し反映できるよう支援します。	・課題の把握、検討、対応 ・関係機関調整	10.0

1-3-(3) 地域における相談支援体制の充実

20	相談員への支援	平成29年度	評価点
	相談を受ける側の心構え、幅広い専門的知識の研修を取り入れ、市民の相談ごとに親身に取り組めるよう支援します。	・研修参加、支援	10.0
21	相談先の周知	平成29年度	評価点
	不安を抱えて相談に来る人のニーズを把握し、相談者の問題解決に取り組めるよう支援します。	・心配ごと相談所 ・こころの相談等	10.0

基本目標2 安心・安全な暮らしを守る支援

中柱ごとの評価点

基本目標2の評価については、「2-1 地域の連携体制を強化する」が10.0で最も高く、次いで、「2-3 より快適な住環境をととのえる」が9.0、「2-2 すこやかでうるおいのある生活を実現する」が8.0なっています。

基本目標2全体	9.0
2-1 地域の連携体制を強化する	10.0
2-2 すこやかでうるおいのある生活を実現する	8.0
2-3 より快適な住環境をととのえる	9.0

2-1 地域の連携体制を強化する

各取り組み項目別の評価点

2-1全体	10.0
2-1-(1) 地域における見守りネットワークの構築	10.0
2-1-(2) 緊急時の連携・支援体制の整備	10.0

2-1-(1) 地域における見守りネットワークの構築

2 2	地区社会福祉協議会活動	平成29年度	評価点
	地域の実情に応じて地区社会福祉協議会の協力体制を整え、積極的に参加できるよう連携を図ります。	・活動支援	10.0
2 3	悪質商法等の情報収集及び情報提供	平成29年度	評価点
	関係機関と連携し、悪質商法等の情報収集に努めます。また、住民や他団体に対し情報を発信できるよう取り組みます。	・団体への情報提供（随時）	10.0
2 4	地区社会福祉協議会活動等	平成29年度	評価点
	給食サービス事業を広く周知し、高齢者の安否確認や見守りを図ります。また、地域の実情に応じて地区社会福祉協議会の協力体制を整え、防犯パトロール隊に積極的に参加できるよう地域の連携を図ります。	・給食サービス（月1回訪問） ・地区社会福祉協議会活動支援	10.0

2-1-(2) 緊急時の連携・支援体制の整備

2 5	災害ボランティア講座の開催	平成29年度	評価点
	災害ボランティア講座を開催し、防災についての知識向上に努めます。	・災害ボランティア講座開催	10.0
2 6	災害ボランティアセンターのマニュアル作成	平成29年度	評価点
	災害ボランティアセンター立上げのマニュアルを作成し、マニュアルに基づいた訓練を実施します。	・調査研究	10.0

2-2 すこやかでうるおいのある生活を実現する

各取り組み項目別の評価点

2-2全体	8.0
2-2-(1) 健康の維持・増進の推進	6.0
2-2-(2) 生きがいづくりの促進	10.0

2-2-(1) 健康の維持・増進の推進

27	ボランティアの相談・登録・斡旋	平成29年度	評価点
	ボランティア登録や活動に関する相談に応じ、情報提供に努めます。また、介護予防に関するボランティアの研究や講座の開催に取り組みます。	・ 情報提供継続 ・ 講座の調査研究	6.0
28	介護予防出前講座の開催	平成29年度	評価点
	介護予防の基本的な知識の普及啓発に努め、体制づくりとして地域へ講師の派遣を行います。	・ 講師の派遣12団体	—

2-2-(2) 生きがいづくりの促進

29	生きがいデイサービス事業	平成29年度	評価点
	介護予防の一環として「生きがいデイサービス」を実施します。また、新しい総合事業に即した生きがいデイサービスの実施に向けてのあり方を検討し、実施します。	・ 継続実施	10.0
30	シルバークラブの運営支援	平成29年度	評価点
	各種スポーツ大会や研修旅行の企画・運営、クラブ活動への支援を行うことで、生きがいづくりの増進を図ります。	・ 行事企画運営 ・ クラブ活動支援	10.0

2-3 より快適な住環境をととのえる

各取り組み項目別の評価点

2-3全体	9.0
2-3-(1) 生活環境の向上	8.0
2-3-(2) 生活空間のバリアフリー化の推進	10.0

2-3-(1) 生活環境の向上

31	地区社会福祉協議会との連携	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会発行の広報紙を活用し広報・啓発活動に取り組みます。	・ 継続支援	6.0
32	活動の周知	平成29年度	評価点
	広報紙「ささえ愛」やホームページ、地区社会福祉協議会広報紙を活用し、地域清掃や環境美化活動の周知を図るなどの支援に努めます。	・ 継続支援	10.0

2-3-(2) 生活空間のバリアフリー化の推進

33	バリアフリー化の推進	平成29年度	評価点
	福祉まつりや福祉体験を通じて、高齢者や障がいのある人、子ども連れの方が快適に生活できるように、バリアフリーやユニバーサルデザインの普及に努めます。	・ 福祉まつり ・ 福祉体験	10.0

基本目標3 地域福祉推進体制の強化

中柱ごとの評価点

基本目標3の評価については、「3-1 福祉意識を醸成する」が10.0で最も高く、次いで、「3-2 地域を引っ張る人を育てる」が9.5、「3-3 福祉ネットワークをつくる」が9.4となっています。

基本目標3全体	9.6
3-1 福祉意識を醸成する	10.0
3-2 地域を引っ張る人を育てる	9.5
3-3 福祉ネットワークをつくる	9.4

3-1 福祉意識を醸成する

各取り組み項目別の評価点

3-1全体	10.0
3-1-(1) 福祉・人権教育の推進	10.0
3-1-(2) 広報・啓発活動の充実	10.0

3-1-(1) 福祉・人権教育の推進

34	福祉体験の実施・協力	平成29年度	評価点
	障がいのある人や高齢者への理解を深めてもらうため、福祉まつりの会場で体験コーナーを設置します。また、体験セットの貸出し促進のためPRに努めます。	・継続実施	10.0
35	富里市福祉まつりの開催	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会等の各関係団体と連携しながら、福祉団体やボランティアの活動をPRする福祉まつりを開催することで、市民の福祉意識の醸成に努めます。	・継続実施	10.0

3-1-(2) 広報・啓発活動の充実

36	広報紙・ホームページによる情報提供	平成29年度	評価点
	広報紙「ささえ愛」によるさまざまな福祉情報の提供に努めるとともに、ホームページを活用し、より一層詳細な情報提供を図ります。	・ささえ愛掲載（年3回） ・ホームページ更新（随時見直し）	10.0

3-2 地域を引っ張る人を育てる

各取り組み項目別の評価点

3-2全体	9.5
3-2-(1) 地域のリーダーの育成	10.0
3-2-(2) ボランティアコーディネート機能の強化	9.0

3-2-(1) 地域のリーダーの育成

37	地区社会福祉協議会の人材育成	平成29年度	評価点
	それぞれの地域の特性や実情を踏まえた上で、人材の確保や育成を図ります。	・課題発掘 ・研修会参加	10.0

3-2-(2) ボランティアコーディネート機能の強化

38	ボランティアセンターのPR（再掲）	平成29年度	評価点
	ボランティア講座の募集ポスターを公共施設等に掲示したり、ホームページを活用し積極的に情報提供に取り組みます。	・継続実施	10.0
39	ボランティア入門講座の開催（再掲）	平成29年度	評価点
	ボランティア入門講座を開催するとともに、登録につながるよう支援します。	・年1回開催	10.0
40	介護支援ボランティア制度の活用（再掲）	平成29年度	評価点
	市と協力し、介護支援ボランティアポイント制度を利用・活用します。	・検討	10.0
41	とみさと市民活動サポートセンターとの協力・情報交換（再掲）	平成29年度	評価点
	とみさと市民活動サポートセンターと連携し情報提供に努めます。	・継続実施	6.0

3-3 福祉ネットワークをつくる

各取り組み項目別の評価点

3-3全体	9.4
3-3-(1) 社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の活動の周知・充実	8.7
3-3-(2) 関係組織・団体間の連携強化	10.0

3-3-(1) 社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の活動の周知・充実

4 2	地区社会福祉協議会活動の支援・PR	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会の地域福祉活動内容のPR及び充実、育成を図り市民参加に努めます。また、総合事業に基づく新たな支え合いの仕組みづくりを検討し、実施します。	・検討実施	6.0
4 3	広報紙・ホームページによる情報提供（再掲）	平成29年度	評価点
	広報紙とホームページを活用し、社会福祉協議会の各種事業をはじめ地区社会福祉協議会やボランティア団体の活動をPRすることで、より一層の福祉活動への周知を図ります。	・ささえ愛掲載（年3回） ・ホームページ更新（随時見直し）	10.0
4 4	職員の研修実施	平成29年度	評価点
	職員の資質を高めるため、計画的な研修への参加と事業展開に必要な資格の取得を促します。	・継続実施	10.0

3-3-(2) 関係組織・団体間の連携強化

4 5	子育てサロン等の支援	平成29年度	評価点
	地区社会福祉協議会が主催する子育てサロンや各種イベントに、さまざまな団体に協力してもらい事業実施できるよう支援することにより、地域間の連携を深めます。	・継続支援実施	10.0
4 6	情報提供・相談	平成29年度	評価点
	社会福祉協議会支部長会議や民生委員児童委員協議会定例会等で社会福祉協議会のサービス等の情報を提供します。また、気軽に相談できる体制に努めます。	・継続支援実施	10.0

基本目標4 多様な福祉サービスの充実

中柱ごとの評価点

基本目標4の評価については、「4-2 適切な情報提供・相談支援を行う」が9.0で最も高く、次いで、「4-1 福祉サービスを充実する」が8.4なっています。

基本目標4全体	8.7
4-1 福祉サービスを充実する	8.4
4-2 適切な情報提供・相談支援を行う	9.0

4-1 福祉サービスを充実する

各取り組み項目別の評価点

4-1全体	8.4
4-1-(1) 福祉サービスの充実	6.3
4-1-(2) 利用者の権利擁護	7.3
4-1-(3) サービス事業者の育成	10.0
4-1-(4) 生活困窮者の自立支援	10.0

4-1-(1) 福祉サービスの充実

47	総合事業への移行	平成29年度	評価点
	既存の訪問介護事業の内容を精査し、社会福祉協議会の特性を活かした新しい総合事業に移行できるよう取り組みます。	・総合事業の検討、実施	3.0
48	多様なニーズへの対応	平成29年度	評価点
	介護者本人や家族の支援を行う中で、多様なニーズを把握し福祉サービスの充実に努めます。	・継続実施	6.0
49	外出支援の充実	平成29年度	評価点
	外出支援が必要な人に情報提供ができるように情報の収集をしていきます。また、外出支援ボランティア養成講座の開催に向けての研究の実施、講座の開催、講座修了者のボランティア登録を支援します。	・情報収集、情報提供 ・講座研究	6.0
50	移送サービス事業	平成29年度	評価点
	富里市からの委託を受け、高齢や障がいにより、単独での移動及び公共交通機関の利用が困難な方を対象に、福祉車両による外出支援を行います。	・継続実施	10.0

4-1-(2) 利用者の権利擁護

5 1	日常生活自立支援事業	平成29年度	評価点
	日常生活を送る上で、十分な判断ができない方や、体の自由がきかない方に対し、福祉サービスの利用にかかわる相談や援助をはじめ、日常的な金銭管理のお手伝いなどの支援をします。	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援員の増強 研修参加 相談支援継続 	6.0
5 2	成年後見制度に関する事業（法人後見）	平成29年度	評価点
	成年後見制度の相談・申立書類の手続き支援や必要に応じて、法人として成年後見人となり支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 窓口開設 相談支援 チラシの作成配布 	10.0
5 3	広報活動事業	平成29年度	評価点
	地域生活支援事業（声の広報等発行・相談支援・移動支援・生活サポート）や成年後見制度についての周知充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ささえ愛掲載 ホームページ随時更新 	6.0

4-1-(3) サービス事業者の育成

5 4	職員の資質の向上	平成29年度	評価点
	多様なサービスにかかわる職員が連携を図りながら、利用者へ適切なサービスを提供できるよう、研修会やミーティングを行うことでスキルアップを図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の実施、参加 	10.0
5 5	情報の収集	平成29年度	評価点
	福祉サービスを利用したい人が適切な事業者を選択できるように、事業者連絡会等を通じて情報を収集し、提供できるように努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 	10.0

4-1-(4) 生活困窮者の自立支援

5 6	生活福祉資金貸付事業	平成29年度	評価点
	資金の貸付と民生委員・児童委員の協力のもとに必要な相談や援助指導を行うことで安定した生活を送れるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 継続支援、実施 	10.0
5 7	小口資金貸付事業	平成29年度	評価点
	生活保護の見通しがつき、保護費が支給されるまでのつなぎ資金として健全な世帯に立ち直らせることを目的に貸付を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 	10.0

4-2 適切な情報提供・相談支援を行う

各取り組み項目別の評価点

4-2全体	9.0
4-2-(1) 情報提供の充実	8.0
4-2-(2) 相談支援体制の充実	10.0

4-2-(1) 情報提供の充実

58	広報紙・ホームページによる情報提供	平成29年度	評価点
	広報紙「ささえ愛」やホームページを活用し、社会福祉協議会が実施する各種相談事業を事例を交えながら市民にわかりやすく周知します。	・内容検討、掲載実施	6.0
59	声の広報の実施	平成29年度	評価点
	「広報とみさと」及び「議会報」を音訳し希望者に配付します。また、音訳ボランティアの講座を開催しボランティアのスキルアップと新規ボランティアの育成に努めます。	・配付継続	10.0

4-2-(2) 相談支援体制の充実

60	心配ごと相談所の運営	平成29年度	評価点
	市民の個々の悩みごとについて適切な助言・指導にあたり、明るい家庭生活に導くことを目的として心配ごと相談を実施します。また、月1回人権擁護委員・行政相談委員と合同での相談を開催し、各機関と連携しながら幅広い相談に対応できるよう努めます。	・心配ごと相談（週1回） ・合同相談（月1回）	10.0